



第46回(2017年)秋季千葉市長杯争奪OP級オープンヨットレース 帆走指示書(Sailing Instructions)

略称:この帆走指示書では以下の略称を使用する:

- NOR : 実施要項
- RC : レース委員会
- PC: プロテスト委員会
- RRS : セーリング競技規則
- SI : 帆走指示書

1. 適用規則

- 1.1 本大会はRRSに定義された「規則」を適用する。SIとNORが矛盾する場合は、SIが優先される。
- 1.2 選手は海へゴミを捨ててはならない。海上ではゴミをサポートボートや運営艇へ預けてよい。

2. 選手への通告及びSIの変更

- 2.1 選手に対する通告は、大会本部(南側艇庫)に設置された公式掲示板に掲示される。
- 2.2 SIの変更は、それが有効となる日の9:00時までに掲示される。

3. 陸上で発せられる信号

- 3.1 陸上で発せられる信号は、大会本部付近に掲揚される。
- 3.2 「D旗」が音響一声とともに掲揚された場合には「選手はレース・エリアに向かいなさい。最初の予告信号は「D旗」掲揚の30分以降に発せられる。」「艇は、「D旗」が掲揚されるまでハーバーを離れてはならない。」ことを意味する。

4. 海上で発せられる信号

スタートライン又はフィニッシュラインに位置するRC運営艇に「N/H旗」、「N/A旗」、「AP/H旗」ないし「AP/A旗」が掲揚された場合、RRSにおける各レース信号の規定に加え、「帰港した艇は直ちに帰着申告をしなさい。」を含むものとする。

5. レースの日程

- 5.1 レースの日程を次の通りとする。

時間	日程	備考
08:00	ハーバー集合 運営ミーティング	
08:00~8:45	受付	大会本部(南側艇庫前、雨天の場合はハーバー建物予定)
09:00	開会式、スキッパーズミーティング	
10:00	OP初級者クラス第1レース予告信号 (引続きレースを行う)	OP初級者クラスは受付で配布する識別リボンをスプリット先端につけること
10:05	OP以外・OP上級クラス第1レース予告信号 (引続きレースを行う)	
13:30	この時間以降に予告信号が発せられることはない。	
16:00	表彰式、閉会式	



5.2 予定されるレース数は、下記の通りとする。

- a) 本大会は、1レースを以って成立するものとします。
- b) 1日に行われるレース数は、RCの裁量により決められる。
- c) 引き続きレースが行われる場合には、次のスタートが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号の5分前までに音響1声と共にオレンジ色旗を掲揚する。

6. クラス旗

クラス旗は、OP以外・OP上級クラスは「F旗」、OP初級者クラスは「OP旗(オレンジ地)」とする。

7. レース・エリア

添付にレース・エリアの位置を示す。

8. コース

8.1 コースは三角コースとし、OP以外・OP上級クラスはS-1-2-3-1-3-F、OP初級者クラスはS-1-2-3-F とする。(添付図)

9. マーク

9.1 マーク1、2、3、はオレンジ色の三角錘ブイとする。

9.2 スタートマークは、スタートラインのスターボードエンドに位置するRC海上本部艇とポートエンドに位置するオレンジ色の三角錘ブイ(3マーク)とする。

9.3 フィニッシュマークは、フィニッシュラインのポートエンドに位置するRC海上本部艇とスターボードエンドに位置する赤色球形ブイとする。

10. スタート

10.1 レースは、RRS26(レースのスタート)を用いて、次の通りスタートさせる。

信号	旗	音響	スタート信号までの時間
予告信号	「F旗」、「OP旗(オレンジ地)」掲揚	音響1声	5分前
準備信号	「P旗」、「I旗」、「U旗」または「黒色旗」掲揚	音響1声	4分前
1分前信号	「P旗」、「I旗」、「U旗」または「黒色旗」降下	長音1声	1分前
スタート信号	「F旗」、「OP旗(オレンジ地)」降下	音響1声	0

10.2 スタートラインは、スターボードエンドに位置する本部艇の「オレンジ旗」を掲揚している赤白ポールと、ポートエンドのオレンジ色の三角錘ブイの間とする。

10.3 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった:DNS」と記録される。この項は、RRS A5(レース委員会によって決定される得点)を変更している。

10.4 RRS30.4(黒色旗規則)が適用されたレースで、ゼネラルリコール信号が発せられた場合またはレースがスタート後中止となった場合、RRS30.4(黒色旗規則)に違反した艇のセールナンバーを、RC海上本部艇から口頭で伝える。これはRRS30.4を変更している。

10.5 U旗が準備信号として掲揚された場合には、スタート信号前の1分間に、艇体、乗員または装備の一部でも、スタートラインの両端と最初のマークとで作られる三角形の中にあってはならない。艇がこの規則に違反して、特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされる。この場合、X旗は掲揚されない。これは規則29を変更している。ただし、レースが再スタートまたは再レース、またはスタート信号前に延期または中止された場合には、失格とはされない。これは規則26を変更している。U旗が準備信号として用いら



れた場合には、規則29.1「個別のリコール」は適用されない。U旗ペナルティーに対する得点記録の略号は、UFDとする。

11. スタート後のコース変更

- 11.1 RCは、先頭艇が次に回るマーク付近に位置する運営艇が反復音響信号と共に「C旗」を掲揚することで、先頭艇がそれ以降帆走するレグのマークを新しい位置に変更することができる。
- 11.2 この変更信号は、次のマークがまだ新しい位置になくても、先頭艇がそのレグを始める前に発せられる。この項は、RRS33(次のマークの位置の変更)を変更している。

12. コース短縮

- 12.1 先頭艇が次に回るマーク付近で、運営艇がクラス旗と共にS旗を揚げた場合は当該クラスはその回航マークとS旗を揚げたポールとの間をフィニッシュラインとし、運営艇をスターボード側に見てフィニッシュする。

13. フィニッシュ

- 13.1 フィニッシュラインは、ラインのポートエンドに位置する「青色旗」を掲揚したRC海上本部艇の赤白ポールとスターボードエンドに位置する赤色球形ブイの間とする。
- 13.2 フィニッシュした艇は、直ちに本部艇の右舷側の待機エリアへ戻り、レース中の艇を妨げてはならない。この規則に違反した場合は、審問により、それ以降のレースについて失格となるか、またはその他の措置を受ける場合がある。

14. ペナルティー方式

- 14.1 RRS付則P(RRS42違反に対する即時のペナルティー)を適用する。
- 14.2 RRS付則P(RRS42違反に対する即時のペナルティー)以外の違反について、ジュリーはレースを看視する。
- 14.3 RRS67(RRS42と審問の要件)に規定されている通り、PCまたはジュリーは、審問なしにRRS42(推進方法)に違反した艇にペナルティーを課すことができる。
- 14.4 RRS第2章(艇が出会った場合)の規則違反に対するペナルティーは、RRS44.1(ペナルティの履行)及びRRS44.2(2回転ペナルティー)に従い「2回のタックと2回のジャイブを含む同一方向への2回転ペナルティー」を適用する。

15. タイム・リミット

- 15.1 タイム・リミットは、RRS28にもとづき、かつRRS30.3(U旗規則)、RRS30.4(黒色旗規則)に違反しないでスタートした水中翼モス以外の艇の最初のフィニッシュ後25分(OP初心者クラスは15分)以内とする。
- 15.2 タイム・リミットまでにフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった:DNF」と記録される。
- 15.3 この項は、RRS35(タイム・リミットと得点)及びRRS付則A4.1を変更している。

16. 抗議と救済の要求

- 16.1 抗議書の交付、抗議の受付及び抗議・救済の要求の締切時間
 - a) 抗議書の交付及び抗議の受付は、PC事務局で行う。
 - b) 艇による抗議またはレースエリア内で目撃したケースに関するRCまたはPCによる抗議は、その日の当該クラスの最終レース終了後60分以内に提出されなければならない。
 - c) 救済の要求の提出期限は、上記の抗議締め切り時間内とする。この項はRRS62.2



(救済の要求の締切時間)を変更している。

16.2 抗議の公示

RCまたはPCからの抗議をRRS61.1(b)に基づき被抗議艇に伝えるために、当該委員会
は"抗議の公示"を掲示する。

16.3 抗議の通告

審問の場所及び時刻、抗議の当事者または証人として指名された選手を本人に知ら
せるため、"抗議の通告"を抗議締切時刻後約30分以内に掲示する。

16.4 審問の順序及び待機場所

- a) 審問は、基本的に抗議受付順に行う。
- b) 当事者は、PC事務局前に待機していなければならない。

16.5 RRS付則P(RRS42違反に対する即時のペナルティー)にもとづきペナルティーを課せ
られた艇のリスト及び情報(ペナルティー内容及び回数)は公式掲示板に掲示される。

16.6 このSIの1.2、2、13.2、および18の違反は、選手による抗議の理由にはならない。

17. 得点方式

17.1 RRS付則Aの低得点方式を適用する。

17.2 大会が成立するためには、1レースを完了することを必要とする。

17.3 3レース以下の成立の場合は、得点の除外は、行なわない。

17.4 4レース以上成立の場合は、最悪の得点1レースを除外する。

17.5 SI 18.3でペナルティーを受けた選手の得点は、DNFの得点より悪くなることはない。

17.6 総合順位はOP初級者クラスを除く艇について添付ヤードスティックナンバーにて順位
付けを行う。

17.7 OP初級者クラスを除く艇種別順位は総合順位により決定する。

18. 安全規定

18.1 RRS40を変更して、浮力装置が膨張式のものである場合、海上では常に膨張させた
状態で着用すること。

18.2 レースからリタイアする選手は、できるだけ早くRCへ知らせなければならない。

18.3 出艇申告、帰着申告は、チェックシステムを採用する。選手は、海上に出る前に出艇
申告として自艇の出艇欄にチェックマークを入れ、帰着後直ちに、帰着申告として着
艇欄にチェックマークを入れなければならない。この指示に従わなかった選手は、各レ
ース得点に5点加算のペナルティーを受ける場合がある。

18.4 救助を必要とする選手は、パドルか片腕を振ることで知らせなければならない。RCは、
RCが救助を要すると判断した選手を、その選手の意向にかかわらず救助する権限を
持つ。

19. 選手の責任

19.1 本大会へ参加する選手は、完全に自らのリスクにおいてこの大会に参加する。また、選
手は、RRS4(レースをすることの決定)を参照のこと。

19.2 大会実行委員会は、本大会の以前、最中または以降のいかなる物的損傷または人の
傷害または死亡などに対して一切の責任を負わない。

19.3 ハーバーからの出艇手続きは各自あるいは各所属団体で行うこと。



<添付>

CYBCヤードスティックナンバー、レース海面位置図、コース図

CYBCヤードスティックナンバー((): 神奈川県民大会 []: JSAF2008)

艇種	YN	艇種	YN
水中翼モス	47(47)	RS Vision	95(95)
シーラーク	80(80)	レーザーラジアル	98(98)
470	80(80)	シーホッパーSR	98(98)
シーホース	87(87)	Y-15	98(98)
スナイプ	90(90)	レーザー4.7	103(103)
420	93(93)	ミラー14	110(110)
FJ	94(94)	ミニホッパー	113(113)
シカーラ	94(94)	A級ディンギー	120(120)
シーホッパー	94(94)	ミラー	124(124)
レーザー	95(95)	OP	144(144)

修正時間=所要時間/YN×100
 (例)シーホッパーSRが45分15秒でフィニッシュしたとすると所要時間は
 $45 \times 60 + 15 = 2,715$ 秒
 $2,715 / 98 \times 100 = 2,770$ 秒が修正時間となります。

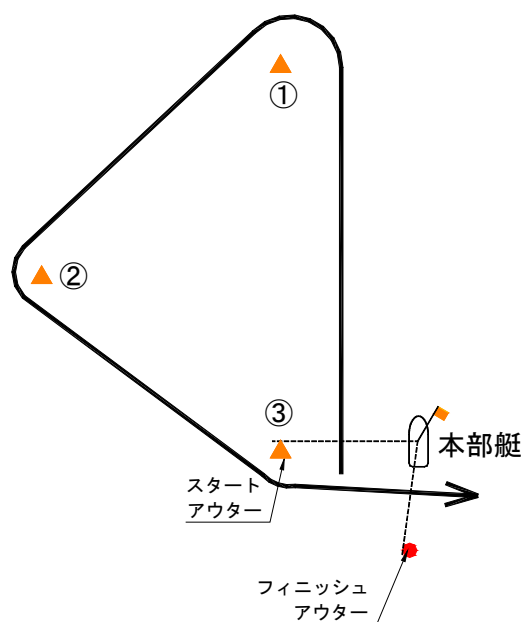
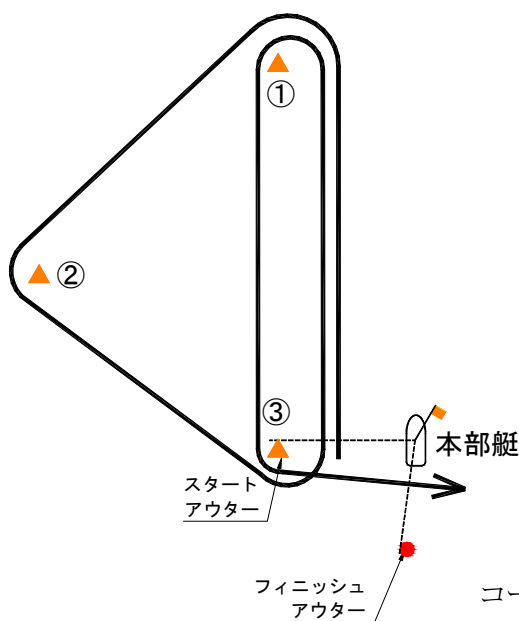
神奈川県民大会でYNの定まっているものはその値、定まっていないものはJSAF2008年の値を採用。



レース海面位置図

OP以外・OP上級クラス
S-1-2-3-1-3-F

OP初級者クラス
S-1-2-3-F



コース図